

# ハロートレーニングとは？

ハロートレーニング(公的職業訓練)を上手に活用して就職やスキルアップにつなげよう！

公的職業訓練をご存じでしょうか。公的職業訓練は希望する仕事に就くために必要な職業スキルや知識などを習得することができる公的制度で、愛称・キャッチフレーズは「ハロートレーニング～急がば学べ～」です。このハロートレーニングについて、その内容や受講メリット等をQ&A形式で分かりやすくご紹介いたします。受講を検討している方も、ハロートレーニングをご存じでない方も、この制度を活用して頂ければと思います。

・子育て中の方の為の「**短時間コース**」や「**託児サービス付きコース**」もあります。

## Q1 ハロートレーニングって何？

A1

ハロートレーニング（公的職業訓練）とは、雇用保険（失業保険）を受給している求職者を主な対象とする「公共職業訓練」と、雇用保険を受給できない求職者を主な対象とする「求職者支援訓練」の総称です。キャリアアップや希望する就職を実現するために、必要な職業スキルや知識を習得することができる公的な制度です。

## Q2 訓練を受講するメリットは？



A2

「やりたい仕事はあるが経験やスキルがない」「入社後すぐに役に立つ専門的・実践的なスキルを身につけたい」などという方には訓練の受講は非常に効果的です。また、訓練受講中でもハローワークや、訓練施設で就職相談を受けることもできます。「急がば学べ」とのキャッチフレーズにもあるとおり、少し時間がかかっても訓練を受講してから就職するメリットは大いにあります。

## Q3 訓練分野(コース)にはどのようなものがあるの？

A3

パソコンなど事務系をはじめとして、IT、製造、サービス、介護、デザイン、理美容に至るまで多種多様な訓練分野を網羅しており、住宅リフォーム、OAシステム開発、Web設計、3DCAD等の昨今の時代のニーズに即したコースや子育て中の女性を対象とした短時間コース等も設定しています。また、第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、介護職員初任者研修等の資格取得をめざすコースもあります。

## Q4 どのような人が受講できるの？

A4

就職を目指す方、キャリアアップしたい方等、状況は問いません。

## Q5 訓練はどこで受講できるの？



A5

公共職業訓練の場合は、国(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構のポリテクセンター)、都道府県(職業能力開発校)、民間教育訓練機関等(都道府県からの委託)が、求職者支援訓練の場合は、民間教育訓練機関等(訓練コースごとに厚生労働大臣が認定)が実施しています。

## Q6 受講費用はどれくらいかかるの？

A6

公的な制度のため、受講料は基本的に無料です(一部テキスト代等は自己負担となります)。

## Q7 訓練期間中の生活費はどうすればいい？

A7

雇用保険(失業保険)を受給できる方は、訓練受講中も手当を受給することが出来、雇用保険を受給できない方には、一定の要件を満たせば、訓練受講中に給付金が支給される制度があります。また、いずれの方にも訓練施設に通うための交通費が合わせて支給されます。詳しくはハローワークにご相談ください。

## Q8 訓練期間はどのくらい？

A8

離職者向けの訓練は、基本的には2~6ヵ月となります。そのほか、1年間や2年間の訓練もご用意しています。

## Q9 いつ申込みばいいの？

A9

コースによって申込受付期間は異なりますので、お近くのハローワークまでお尋ねください。  
(職業訓練コースのリーフレットは居住地を管轄するハローワークでご用意しています)

## Q10 受講するにはどうしたらいいの？



A10

訓練受講に関する手続きは基本的にハローワークで行います。まずは、最寄りのハローワークまでご相談ください。

## Q11 小さい子どもがいるのですが訓練は受講できますか？

A11

保育所等に預けられない小さいお子さんがいて、受講することが難しい方の為に、託児サービス付のコースもご用意しています。